

もくじ

- ・ しらゆきひめ
白雪姫

しらゆきひめ
白雪姫

げんさく 原作： どうわ グリム童話

イラスト： せきぐち よしみ

へんしゅう 編集： YellowBirdProject

ある、冬の日の夜。お城に住むお妃様が、窓から
 外をながめていました。お妃様は長い間子宝に
 恵まれず、毎日つらい思いをしていました。

その時、空からひとひらの雪が舞い降りてきました。
 手のひらに乗った雪の花びらに、お妃様は願いごとを
 しました。

『神様、どうかお願いします。この雪のように美しい、
 かわいい子どもを授けてください』

この願いが聞き入れられたのか、まもなくお妃様は、
 赤ん坊を授かりました。赤ん坊は女の子だったので
 『白雪姫』と名付けられ、やさしい王様とお妃様の元、
 健やかに成長していきました。

しかし、この幸せな暮らしも、長くは続きません
 でした。お妃様が突然の病に倒れ、亡くなって
 しまったのです。



5

お妃様が亡くなって一年後、王様は、新しい
お妃様を迎えました。新しいお妃様は、とても
プライドが高く、この世で一番美しいのは自分だと、
いつも周りの者に言わせていました。

そしてお妃様は、世界に一つしかない、魔法の鏡を
持っていました。お妃様は、いつもその鏡に問い
かけました。

「鏡よ、鏡。世界で一番美しい者はだれだい？」

『お妃様。それは、あなたです』

その返事を聞いて、お妃様は満足げに微笑みました。

魔法の鏡は、決してウソをつかないからです。

それから十数年の月日が流れ、白雪姫はすくすくと
成長し、やがてだれもが見とれるほどの、美しい女性
になりました。

